



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 サンコール株式会社

コード番号 5985 URL <http://www.suncall.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山主 千尋

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 業務・管理部門長

(氏名) 杉村 和俊

TEL 075-881-5280

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	27,594	4.5	1,736	△6.6	1,397	△46.7	980	△45.1
27年3月期第3四半期	26,403	2.3	1,859	△26.1	2,619	△16.6	1,785	△14.6

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 361百万円 (△83.3%) 27年3月期第3四半期 2,170百万円 (△25.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	30.90	30.54
27年3月期第3四半期	56.31	55.72

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
28年3月期第3四半期	43,030		33,589		77.7	1,054.08		
27年3月期	44,903		33,901		75.2	1,065.07		

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 33,440百万円 27年3月期 33,772百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	8.00	—	10.00	18.00
28年3月期	—	8.00	—		
28年3月期(予想)				10.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,000	3.3	2,400	△6.2	2,000	△40.3	1,400	△34.7	44.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	34,057,923 株	27年3月期	34,057,923 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	2,333,377 株	27年3月期	2,348,337 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	31,718,602 株	27年3月期3Q	31,713,427 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、様々な要因により上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(持分法適用の範囲の重要な変更に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
4. 海外売上高 .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## 《全般的概要》

## [経営成績及び事業環境]

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出関連企業を中心に業績や雇用環境の改善が続いた一方、個人消費は力強さに欠け総じて緩やかな回復となりました。世界経済は、中国経済の減速により一部のアジア地域の対中輸出が影響を受けましたが、欧州経済は個人消費が底堅く推移し、米国では原油安によるガソリン価格の低下などを背景として新車販売が伸び、消費主導の成長となりました。

当社グループの主な事業領域である自動車業界は、日本国内では販売台数が伸び悩みましたが、中国では前年同水準が維持し、好調な米国では販売台数が伸びました。

## [連結業績]

このような環境の下、当社グループでは、中国・米国の自動車関連製品やベトナム・タイでのプリンター関連製品の販売が順調に推移したことから、第2四半期以降落ち込んだHDD用サスペンション販売の影響を吸収し、売上高は275億94百万円（前年同期比4.5%増）となりました。利益面では、メキシコ子会社での量産準備費用や受注が急増した不採算製品の原価改善が追いつかなかったこと等により、営業利益は17億36百万円（同6.6%減）となりました。また海外子会社の外貨建債務の為替評価損や海外合弁会社の立ち上げ遅れに伴う持分法投資損失が発生し、経常利益は13億97百万円（同46.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億80百万円（同45.1%減）となりました。

## 《セグメントの業績》

## [日本]

自動車関連製品については、停滞する国内自動車販売の影響を受けましたが、海外向けの弁ばね用材料などが堅調に推移し前年同水準となりました。またHDD用サスペンションはHDD需要の落込み等により前年割れとなりました。

結果として、日本セグメントの売上高は194億51百万円（前年同期比2.2%減）、セグメント利益はHDD用サスペンションの減収や不採算製品の受注増に対応した原価改善の遅れ等により16億2百万円（同16.8%減）となりました。

## [北米]

北米子会社の光通信部品では販売不振が続きましたが、自動車関連製品では好調な米国市場に牽引されエンジン・ミッション用部品の売上が拡大しました。利益面では、メキシコ子会社の量産準備費用、自動車関連製品の増産対応費用の増加等が増収効果を上回りました。

結果として、北米セグメントの売上高は36億31百万円（前年同期比37.1%増）、セグメント損失は1億3百万円（前年同期は41百万円のセグメント損失）となりました。

## [アジア]

プリンター関連製品はタイ・ベトナム子会社のローラー販売が伸長した一方、香港子会社ではデジトロ関連製品も含め低調な状況が続きました。自動車関連製品はタイ子会社ではエンジン用部品の受注が増加し、また中国子会社ではエンジン・ミッション用部品の販売好調で大幅な増収増益となりました。

結果として、アジアセグメントの売上高は71億3百万円（前年同期比21.3%増）、セグメント利益は7億89百万円（同67.7%増）となりました。

## 《製品区分別の売上業績》

製品区分の名称	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減	
	自平成26年4月1日 至平成26年12月31日		自平成27年4月1日 至平成27年12月31日			
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前期比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
精密機能材料	3,210	12.2	3,221	11.7	11	0.4
精密機能部品	15,053	57.0	16,685	60.5	1,632	10.8
サスペンション	3,469	13.1	2,867	10.4	△602	△17.4
プリンター関連	2,861	10.8	3,349	12.1	488	17.1
デジトロ精密部品	1,481	5.6	1,373	5.0	△108	△7.3
その他製品	326	1.3	97	0.3	△229	△70.3
合計	26,403	100.0	27,594	100.0	1,191	4.5

## [精密機能材料]

精密機能材料は、国内販売は低調でしたが、弁ばね材料の海外向け販売が堅調に推移したこと等により、売上高は前年同水準の32億21百万円となりました。

## [精密機能部品]

精密機能部品は、日本国内の自動車需要が停滞した影響を受けたことにより国内販売は伸び悩みましたが、中国及び米国子会社でエンジン・ミッション用部品を拡販することができ、売上高は166億85百万円（前年同期比10.8%増）となりました。

## [サスペンション]

HDD用サスペンションは、第2四半期に入りHDD市場の需要が減少した影響や新規生産ラインの立上げが遅れたこと等により、売上高は28億67百万円（前年同期比17.4%減）となりました。

## [プリンター関連]

プリンター関連製品は、香港子会社では顧客の在庫調整等により前年を下回りましたが、タイ及びベトナム子会社ではローラーの販売が順調に推移した結果、売上高は33億49百万円（前年同期比17.1%増）となりました。

## [デジトロ精密部品]

デジトロ精密部品は、日本国内のOA機器用部品販売が低調となり、また北米子会社での光通信部品の販売不振が続いた影響により、売上高は13億73百万円（前年同期比7.3%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 資産・負債・純資産の状況

## [資産]

総資産は、430億30百万円（前連結会計年度末比18億73百万円減）となりました。これは主に、機械装置及び運搬具等の有形固定資産が7億67百万円増加した一方、投資有価証券が保有株式の売却及び株価の下落等により6億12百万円、現金及び預金が設備投資や納税支出等により21億13百万円減少したこと等によります。

## [負債]

負債は、94億41百万円（前連結会計年度末比15億61百万円減）となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が2億86百万円、納税等により未払法人税等が4億36百万円、流動負債の「その他」に含まれる未払金が7億51百万円減少したこと等によります。

## [純資産]

純資産は、335億89百万円（前連結会計年度末比3億11百万円減）となりました。これは主に、利益剰余金が持分法適用の範囲の変更に伴い1億28百万円、配当により5億70百万円減少しましたが親会社株主に帰属する四半期純利益により9億80百万円増加したほか、為替換算調整勘定が2億90百万円、その他有価証券評価差額金が3億26百万円減少したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては平成27年11月5日に公表いたしました業績予想から修正しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,405	7,292
受取手形及び売掛金	8,043	7,701
商品及び製品	1,410	1,298
仕掛品	1,519	1,955
原材料及び貯蔵品	1,544	1,774
その他	1,069	853
流動資産合計	22,992	20,874
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,069	4,033
機械装置及び運搬具（純額）	6,051	6,769
その他（純額）	4,999	5,085
有形固定資産合計	15,120	15,888
無形固定資産	229	302
投資その他の資産		
投資有価証券	6,145	5,533
その他	512	431
関係会社投資損失引当金	△97	—
投資その他の資産合計	6,560	5,965
固定資産合計	21,910	22,156
資産合計	44,903	43,030
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,516	4,229
短期借入金	—	106
1年内返済予定の長期借入金	—	50
未払法人税等	510	73
役員賞与引当金	—	16
賞与引当金	393	225
その他	3,485	2,781
流動負債合計	8,906	7,485
固定負債		
長期借入金	409	356
退職給付に係る負債	58	72
その他	1,627	1,526
固定負債合計	2,095	1,956
負債合計	11,002	9,441

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,808	4,808
資本剰余金	2,744	2,744
利益剰余金	22,998	23,279
自己株式	△900	△895
株主資本合計	29,650	29,936
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,804	2,478
為替換算調整勘定	924	634
退職給付に係る調整累計額	392	391
その他の包括利益累計額合計	4,122	3,503
新株予約権	128	149
純資産合計	33,901	33,589
負債純資産合計	44,903	43,030

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
売上高	26,403	27,594
売上原価	21,293	22,238
売上総利益	5,109	5,356
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	557	619
報酬及び給料手当	883	974
役員賞与引当金繰入額	11	16
賞与引当金繰入額	52	57
退職給付費用	72	62
その他	1,670	1,889
販売費及び一般管理費合計	3,250	3,619
営業利益	1,859	1,736
営業外収益		
受取配当金	119	126
物品売却益	78	59
為替差益	534	—
その他	35	80
営業外収益合計	768	265
営業外費用		
支払利息	0	20
持分法による投資損失	—	430
為替差損	—	146
その他	7	9
営業外費用合計	7	605
経常利益	2,619	1,397
特別利益		
投資有価証券売却益	—	244
その他	1	1
特別利益合計	1	246
特別損失		
固定資産廃棄損	22	14
その他	0	3
特別損失合計	23	17
税金等調整前四半期純利益	2,597	1,625
法人税、住民税及び事業税	723	524
法人税等調整額	89	120
法人税等合計	812	645
四半期純利益	1,785	980
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,785	980

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	1,785	980
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	435	△326
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	△69	△426
退職給付に係る調整額	17	△1
持分法適用会社に対する持分相当額	—	136
その他の包括利益合計	385	△618
四半期包括利益	2,170	361
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,170	361
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法適用の範囲の重要な変更に関する注記)

当第3四半期連結会計期間より、関連会社KOBELCO SPRING WIRE (FOSHAN) CO., LTD. は、親会社株主に帰属する四半期純利益（持分に見合う額）及び利益剰余金（持分に見合う額）に重要な影響を及ぼすため、持分法適用の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	日本	北米	アジア	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	18,269	2,646	5,486	26,403	—	26,403
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,620	2	370	1,993	△1,993	—
計	19,890	2,648	5,857	28,396	△1,993	26,403
セグメント利益又は損失 (△)	1,925	△41	471	2,354	△495	1,859

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△495百万円には、セグメント間取引消去△18百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△476百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社の業務管理部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	日本	北米	アジア	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への売上高	17,278	3,624	6,692	27,594	—	27,594
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,173	7	410	2,591	△2,591	—
計	19,451	3,631	7,103	30,186	△2,591	27,594
セグメント利益又は損失 (△)	1,602	△103	789	2,288	△551	1,736

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△551百万円には、セグメント間取引消去△52百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△499百万円が含まれております。全社費用の主なものは、当社の業務管理部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 4. 海外売上高

前第3四半期末連結累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日）

	北米	ヨーロッパ	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	3,554	390	9,793	235	13,973
II 連結売上高（百万円）					26,403
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	13.5	1.5	37.1	0.9	52.9

当第3四半期末連結累計期間（自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）

	北米	ヨーロッパ	アジア	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	4,555	405	10,199	215	15,375
II 連結売上高（百万円）					27,594
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	16.5	1.5	37.0	0.8	55.7

（注）1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

(1) 北米……………米国、メキシコ

(2) ヨーロッパ……………ドイツ、スイス

(3) アジア……………中国、韓国、タイ、ベトナム、インドネシア、マレーシア、インド、シンガポール、フィリピン

(4) その他の地域……………ブラジル

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。